

第5学年〇組外国語活動学習指導案

〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時

活動場所 5年〇組教室

指導者 教諭 〇〇 〇〇

教諭 〇〇 〇〇

1 単元名 Hi friends! 1 Lesson 9 「What would you like?」

2 単元について

本単元の「What would you like?」は、以前似たような表現である「What do you like?」「What do you want?」を取り扱っているため意味が推測しやすいので、児童にとって意欲的に取り組みやすい単元であると考えられる。

活動に取り組む際には、間違いを恐れず自信を持って発音できるように賞賛したり、児童が意欲的に取り組める活動を設定したりすることで、積極的に友達とコミュニケーションをとれるようにしたい。

3 児童の実態について

<省略>

4 単元のねらい

- ・欲しいものについて積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
- ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。
- ・世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねる際、丁寧な表現があることに気付く。

5 研究主題との関連

(1) 研究主題

「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」
～楽しく取り組む外国語活動の授業づくり～

(2) めざす児童像

高学年のめざす児童像

友達との関わりを大切にし、自信をもって表現できる児童

(3) 研究仮説と手立て

<仮説1>

称賛する機会を多くすることで、自信をもって豊かに表現できる児童が増えるであろう。

<手立て>

- 「Good job!」や「Very good!」など称賛する言葉を教師が学び、称賛する場面を意図的に設定する。

<仮説2>

コミュニケーションの場면을意図的・計画的に設定することで、人との関わりを大切にし、外国語に慣れ親しむことができるであろう。

<手立て>

- HRTやALTが児童に個々に質問をする場面を設定したり、アクティビティの時間を確保したりすることで、多く発話できるようにする。

<仮説3>
学習過程や教材・教具の工夫をすることで、児童の理解がより深まり、楽しく主体的に取り組むことができるであろう。
<手立て>
○発達段階に応じた活動を検討し、実践したり、研修の時間内に、教材・教具の開発、作成の時間を設けたりすることで、学習環境を整え、児童の理解の深まりと主体的な学びにつなげる。

6 単元の計画（第1時／2時間）

	活動内容	活動のねらい	使用表現・語彙	指導上の留意点・資料
第1時	<p>○chant What would you like? (Lesson9)</p> <p>○Activity 1 隣の人に注文をとろう！</p> <p>○Activity 2 クラスの人気メニューランキングのアンケートをとろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。 	<p>児童「What would you like?」</p> <p>児童「I'd like ～.」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆デジタル教材 ◆ワークシート <p>・デジタル教材を聞き取り、教科書にそれぞれの番号を書く。</p> <p>・サイドからデザートまで、クラスの児童にインタビューをし、5-1のメニューをつくる</p>
第2時	<p>○Chant What would you like? (Lesson9)</p> <p>○Activity (P40) どこの国の給食か聞いて□に番号を書く。</p> <p>○Activity 1 アルファベットカルタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。 ・世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねたり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く。 	<p>児童「What would you like?」</p> <p>教師「I'd like A.」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆デジタル教材 ◆アルファベットカルタ ◆ワークシート <p>・児童がALTに、What would you like? と、ほしいカードを聞き、ALTは I'd like A. と、取り札を言う。</p>

7 本時のねらい

- ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。

8 本時の展開

活動内容	児童の活動	ティームティーチング		○指導上の留意点 ◎教材・機器 ◆評価の観点と方法
		担任（HRT）の活動	ALTの活動	
1 あいさつ (2分)	HRT: Let's start English class! HRT: Stand up, please. HRT: Hello, everyone. 児童: Hello, ○○.(HRT's first name) ALT: Hello, everyone. 児童: Hello, ●●. HRT: What day is it today? 児童: It's Monday. HRT: What is the date today? 児童: It's November 26 th . HRT: How is the weather today? 児童: It's (sunny/cloudy/rainy).			○元気よくあいさつをさせる。
2 Warm-up 【Let's sing】 (3分)	・ What would you like?を1度聞いてから、歌う。	・ 児童と一緒に歌う。	・ 児童と一緒に歌う。	◎デジタル教材 ◎大型TV ○リズムによって声を出させることで、発音をすることの抵抗感を減らす。
3 Activity1 ・隣の人に注文をとろう!! (10分)	・ 店員役と客役に分かれる。店員役が What would you like? と、ほしいメニューを聞き、客が I'd like ○○. というので、そのワークシートに丸をつける。	・ ALT とデモンストレーションをする、 ・ どんなやり取りをしていたのか、児童に確認する。 ・ 確認後、代表の児童何人かに前でしてもらう	・ ワークシートに書かれている食材の発音を、児童と練習する。	◎ワークシート ◎拡大ワークシート
4 本時のめあて	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> クラスで一番人気のあるランチメニューを調べよう！ </div>			

<p>5 Activity2</p> <p>・インタビューゲームをしよう (20分)</p>	<p>・時間内に出来るだけ多くの人にインタビューをして、人気のあるメニューを調べる。 (サイド・メイン・ドリンクの3つの項目を調べる)</p> <p>・最も票が多いメニューを隣どうしで知らせ合う。</p>	<p>・ALT とデモンストレーションをする、</p> <p>・ルールについて説明する。</p> <p>・一緒に活動をし、発音や聞き方を見ていく。</p>	<p>・HRT とデモンストレーションを行う。</p> <p>・一緒に活動をし、発音や聞き方を見ていく。</p>	<p>◎ワークシート ◎拡大ワークシート ○目を見て会話を進め、コミュニケーションを図るようにさせる。 ○身振りや表情など、相手によく伝わるように工夫させる。</p> <p>◆自分の食べたいものについて、丁寧な表現で尋ねたり、答えたりしている。 (観察)</p>
<p>A: Hello! B: Hello! A: What would you like? B: I'd like (), () and (). A: Thank you. B: What would you like? A: I'd like (), () and (). B: Thank you. A&B: Bye!!</p>				
<p>・調べたメニューを発表する。</p>				
<p>A: 5-1 Menu is (), () and ().</p>				
<p>・今回の表現が丁寧な言い方であることを確認する。</p>				
<p>6 ふり返り (8分)</p>	<p>・アルファベットを2文字練習する。 (O、P)</p> <p>・ふり返りカードで、今日の授業をふり返る。</p>	<p>・ALT と一緒に発音練習をする</p> <p>・意欲的に活動できたか自己評価をさせる。</p>	<p>・アルファベットの発音を練習する。</p>	<p>◎ふり返りカード</p> <p>○次時の意欲につながるよう、具体的によくできたところをほめる。</p>
<p>7 あいさつ (2分)</p>	<p>HRT: That's all for today. ALT: Thank you. 児童: Thank you. ALT: See you. 児童: See you.</p>			

9 板書計画

Monday, November 26th

Aim クラスで一番人気のあるランチメニュー
を調べよう！

What would you like?

I'd like ().

拡大ワークシート

拡大ワークシート